

2023年2月 (No.404)

主な内容とページ

部分的に異変、今年前半は調整	1
中国向け落ち込み続行.....	2
年末異変、急減速の二分野	4
メモリ不振、最大級か?	4
半導体輸入が第4四半期で4割減.....	5
世界半導体企業40社、第4四半期、13社が前年比増収.....	6
米国大手15社、7社が前年比増を確保	10
「最後」はやめよう(SRL だより).....	12

部分的に異変、今年前半は調整

半導体市況は、昨年末に大きく転換し、調整に入った。

1. 昨年末で、メモリ需要、わが国半導体輸入で急激な落ち込みがみられた。これまでの好調の反動で、今年前半は調整が必要とみられる。
2. 自動車向け、産業機器向けの需要は比較的堅調で、EV(電気自動車)や省エネ、省力化機器向けなど今年も伸びそう。
3. 世界的にコロナ感染からの回復、大市場中国の景気、ウクライナ侵攻の影響など半導体需要を左右する要因が錯綜、複雑化しており、楽観はできないものの、大きな調整は避けられそう。

「最後」はやめよう

半導体の再興に関するニュースや論評が花盛り。それは結構なことだが、気になるのは今回の取り組みが「最後」とか「ラストチャンス」といった表現が目立つことだ。一方で、半導体の重要性の高まりが云々され、従って今が回復に向けて残された時期、最後ということだが、何かしっくりこない感じがする。

半導体はわれわれの生活や社会にとって「コメ」とか「鉄」と同様に必要不可欠なもの。その取り組みは最後があってはならず、決してあきらめない。国や国民の存亡にかかわるものではないだろうか。挑戦は永遠に続き、かつより豊か、課題を解決する方法をもたらす夢のあるものであってほしい。

マスコミは、とかく大上段、注目を引きそうな内容を並べ立てるが、これは、商売であり、それを踏まえて受け取る必要がある。同時に業界側もマスコミへの対応、戦略が問われる。果たして戦略は存在するのか。都合の良いことばかりを並べ、利用しようとしたら間違いだ。問われるのは展望、将来像に基づく確固たる挑戦なのである。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 版權所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2023 年 2 月 (毎月 1 回発行) 第 34 巻 2 (通巻 404)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

SRL Monthly Report

February 2023, No.404

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分 (12 号) 98,000 円 (税別) 107,800 円 (税込み)